

しあわせの瓶

教会長 高阪健太郎



「マヨネーズ瓶と二杯のコーヒー」という話があります。ある大学で行われた哲学の授業。教授は大きな瓶いっぱいゴルフボールを入れ「瓶はいっぱいか？」と学生に尋ねます。学生が「いっぱいです」と答えると次に小石、そして砂を瓶に注ぐ。ぎっしり詰まった瓶。学生達が「もういっぱいです」と答えると教授は二杯のコーヒーを瓶に注ぎこう語りかける。

「これは君達の人生です」ゴルフボールはとても大切なもの。家族や健康など、他の全部をなくしてもこれさえあれば人生は十分だというもの。小石は仕事や家や車などの重要なもの。砂は他の小さいこと。もし最初に砂を入れたら、大切なものを入れる余地は無くなってしまう。「本当に大切なものは何か、優先順位をつけなさい」と。

すると生徒の一人が手を挙げた。「それではコーヒーはなんですか？」教授はにっこり微笑むとこう返した。「いい質問だね。人生どんなに忙しくたって、友だちとコーヒーを飲むくらいの余裕はあるということさ」…

このお話は表面的には優先順位「自分にとってのゴルフボールは何か」を問うているかに見えますが、話の肝は表題の

5月20日(土) 大津親教会 天地金乃神大祭参拝
5月26日(金) 午後1時

三代教会長 高阪松太郎真道広知大人一年祭

とおりに「瓶」と「二杯のコーヒー」にあるように思うのです。
二杯のコーヒーは「どんなに忙しくとも欠いてはいけないこと」そして「時間は足らなければ作れる」ということです。
暇つぶしではなく、そうまでして時間を作って来てくれる友の話を、真剣に聞かない人はいないでしょう。

「みな、忙しいからなかなかお参りができませんと言う。
無理に忙しい時に参れと言うのではないが、おかげを受けていれば暇な日という日があるものか。今日は雨が降ったからお参りしよう、今日は休みだからおかげを受けようと、暇をつくって参り、おかげを受けるがよい。」（『天地は語る』146）

瓶は器、すなわち心です。大切にしたいものがいくらあっても、入れる瓶がなければバラバラです。心のかたちが備わることですべてが幸せというカタチにおさまるのです。

予定表【行事及び留守日】

5月

- 1（月）月始祈願祭（10：00）
- 10（水）金光大神月例祭（10：00）
- 12（金）大津親教会月参（長）
- 20（土）大津親教会天地金乃神大祭参拝※臨時休館します

お供えは19日までにお預けください。

- 22（月）天地金乃神月例祭（10：00）
- 26（金）先代教会長一年祭（13：00）

（最新の情報は公式LINEまたはホームページでお知らせします）

《開門》

平日6：00～18：00
土日祝祭日8：00～18：00

《御祈念》

平日6時・14時
土日祝祭日10時・14時

《月例祭》

1日 月始祈願
10日 金光大神祭日
22日 天地金乃神ご縁日
（いずれも10時）

金光教伊勢教会

〒516-0073

伊勢市吹上1丁目8-25

TEL 0596-28-5869

<https://ise.konko.info>

 ise@konko.jp

信徒会にご入会ください

年会費一人一口1,000円

（最小二口2,000円～）

振込先 東海労働金庫

伊勢支店3827637



伊勢教会ウェブサイト
<https://ise.konko/info>



伊勢教会
公式LINEアカウント